



Chapter 1

魔矇中毒

一年前

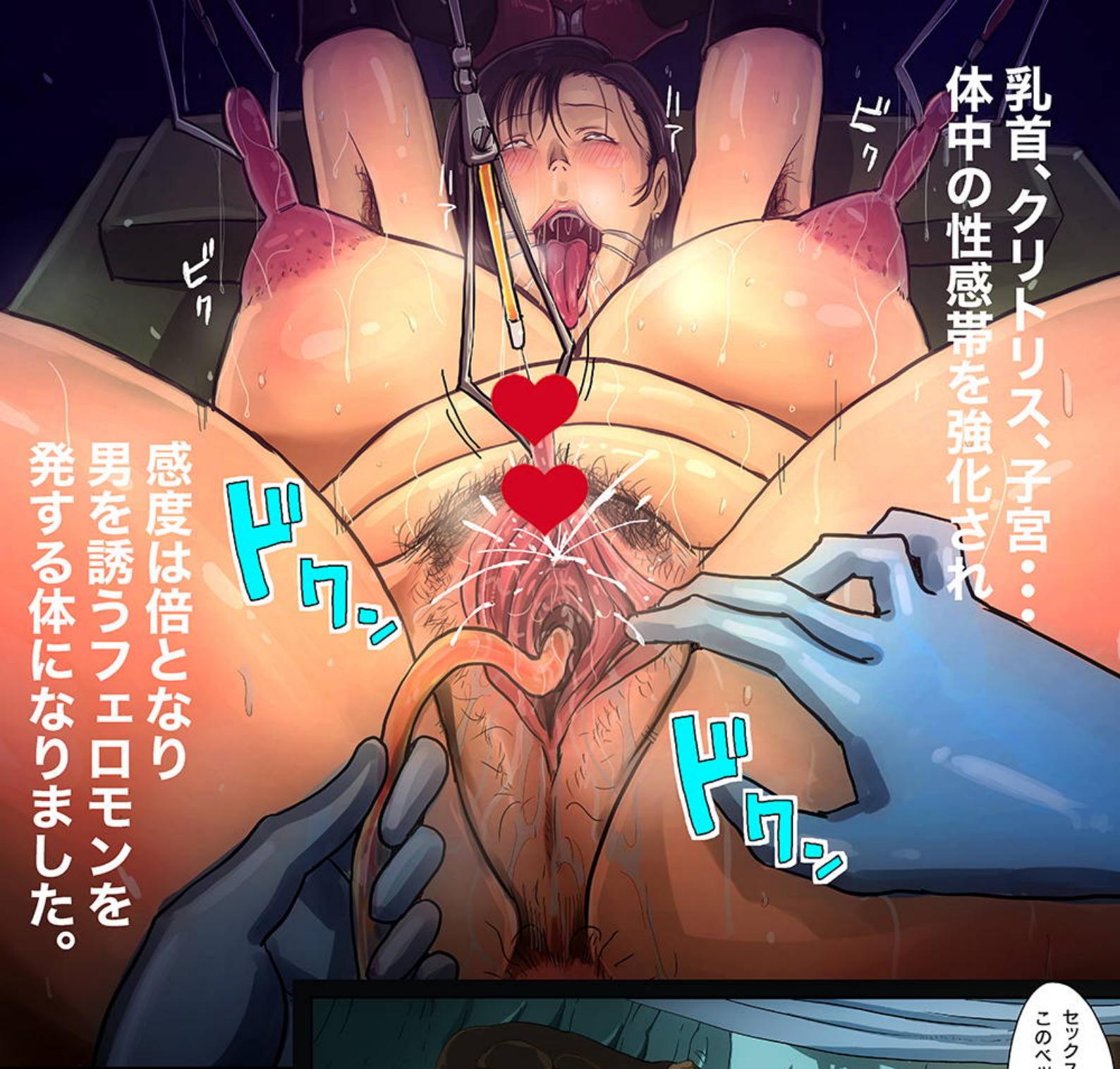
私は
神羅に捕まり



宝条の実験施設へ送られました。

乳首、クリトリス、子宮…
体中の性感帯を強化され

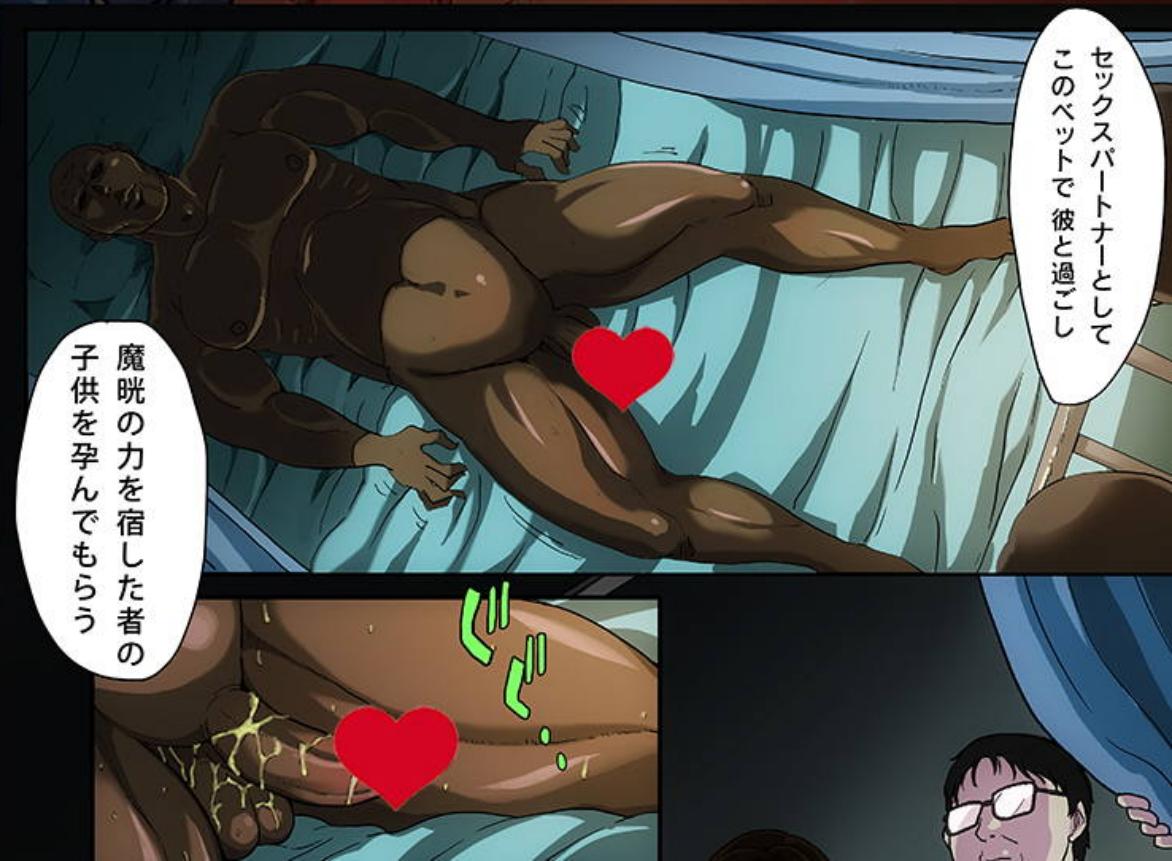
感度は倍となり
男を誘うフェロモンを
発する体になりました。



魔晄中毒者の
苗床とされました。

魔晄の力を宿した者の
子供を孕んでもらう

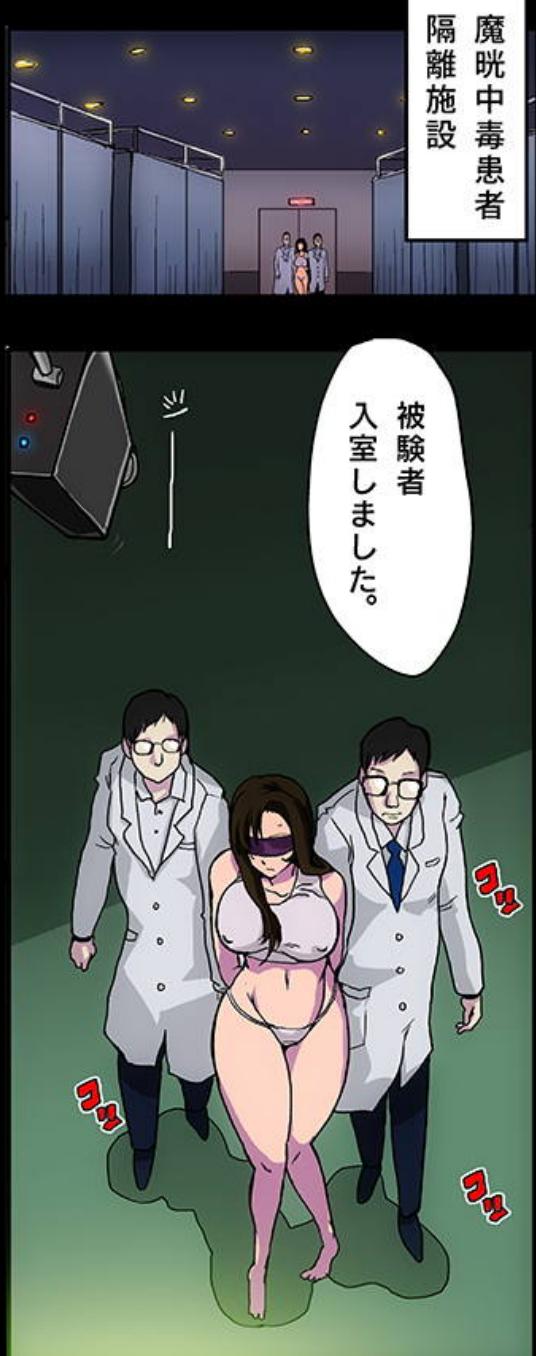
セックスパートナーとして
このベットで彼と過ごし



表向きは、魔晄中毒者を治療する施設でしたが



私は
魔晄中毒者のつがいとして
そこへ入室されされました。



魔晄の力を
先天的に持つソルジャーを
生み出すという
非人道的な実験でした。

そして私は初めて
体内に
受精しました。





昼夜繰り返される
魔晄中毒者達との
強制種付けセックス



魔晄中毒者の精液は
私の身も心も
蝕んでいきました。

205号室の

被験者の着床を確認しました。
受精レポートの記録を
停止いたします。



魔晄中毒者の精液を受精し続けた私は…
魔晄中毒者の精液で発情する魔晄中毒者となっていたのです。

スラム街

浮浪者
神羅鉄道高架下
の住処

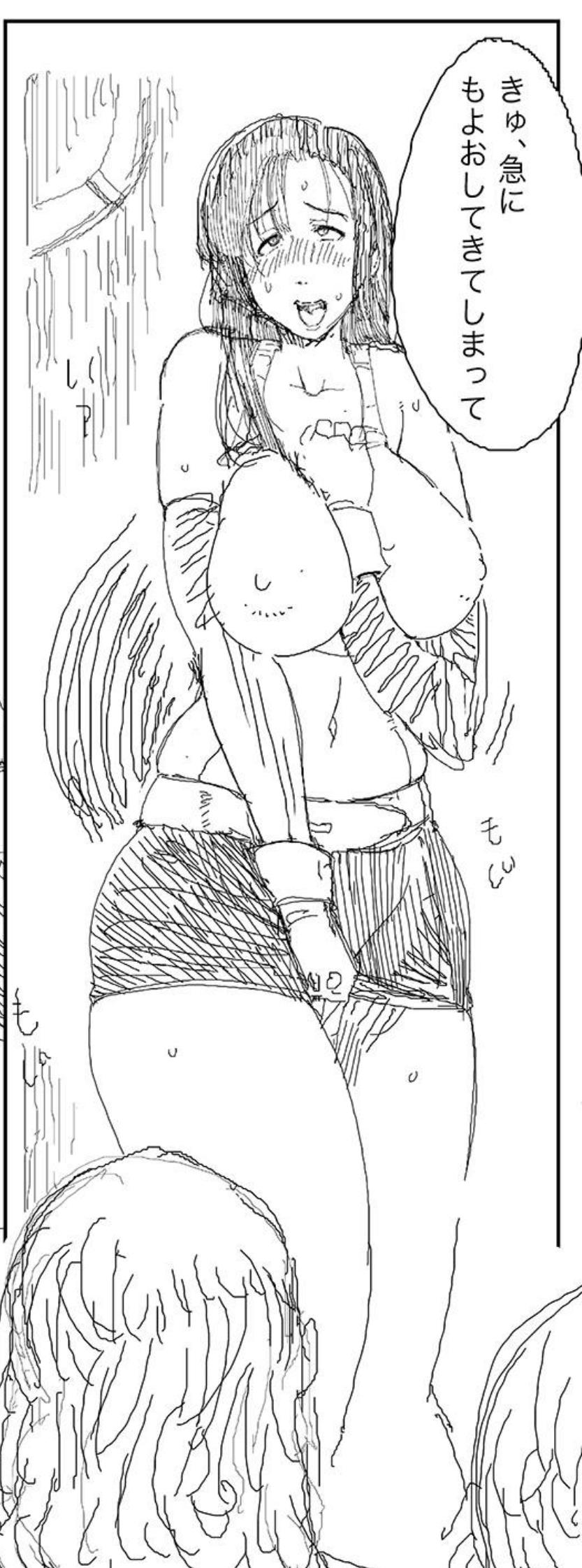
なんだ～？

あのう

もい

もい

便所貸して
くれます？



平氣です

お、おい

こういうの

私

慣れますから

そ、そ
うか

神羅でクリトリス
大きくされちゃってから

便所が
ちかくなっちゃって

あんまり
匂わないで

恥ずかしい

まんこ

メス子宮

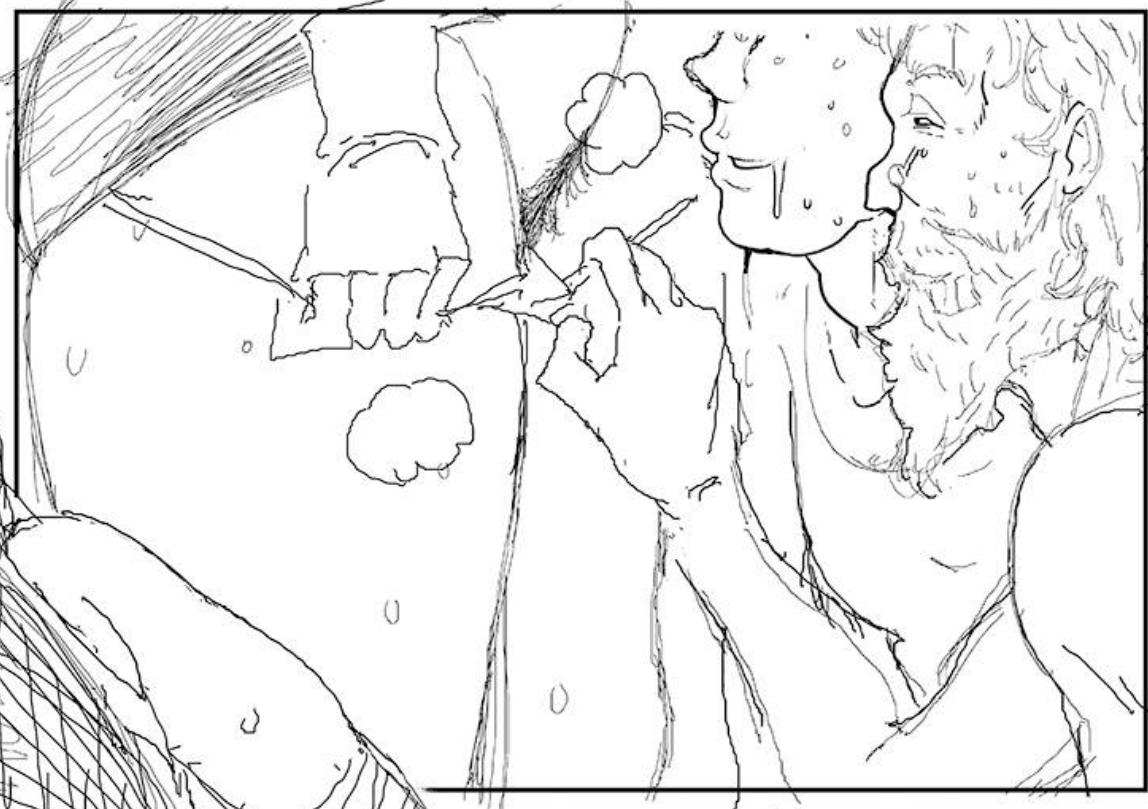
まんこ位

オマンコ
臭いですよ

体臭も強く
されてるから



おじさん達
魔晄中毒者かしら?



そ、そりゃが?

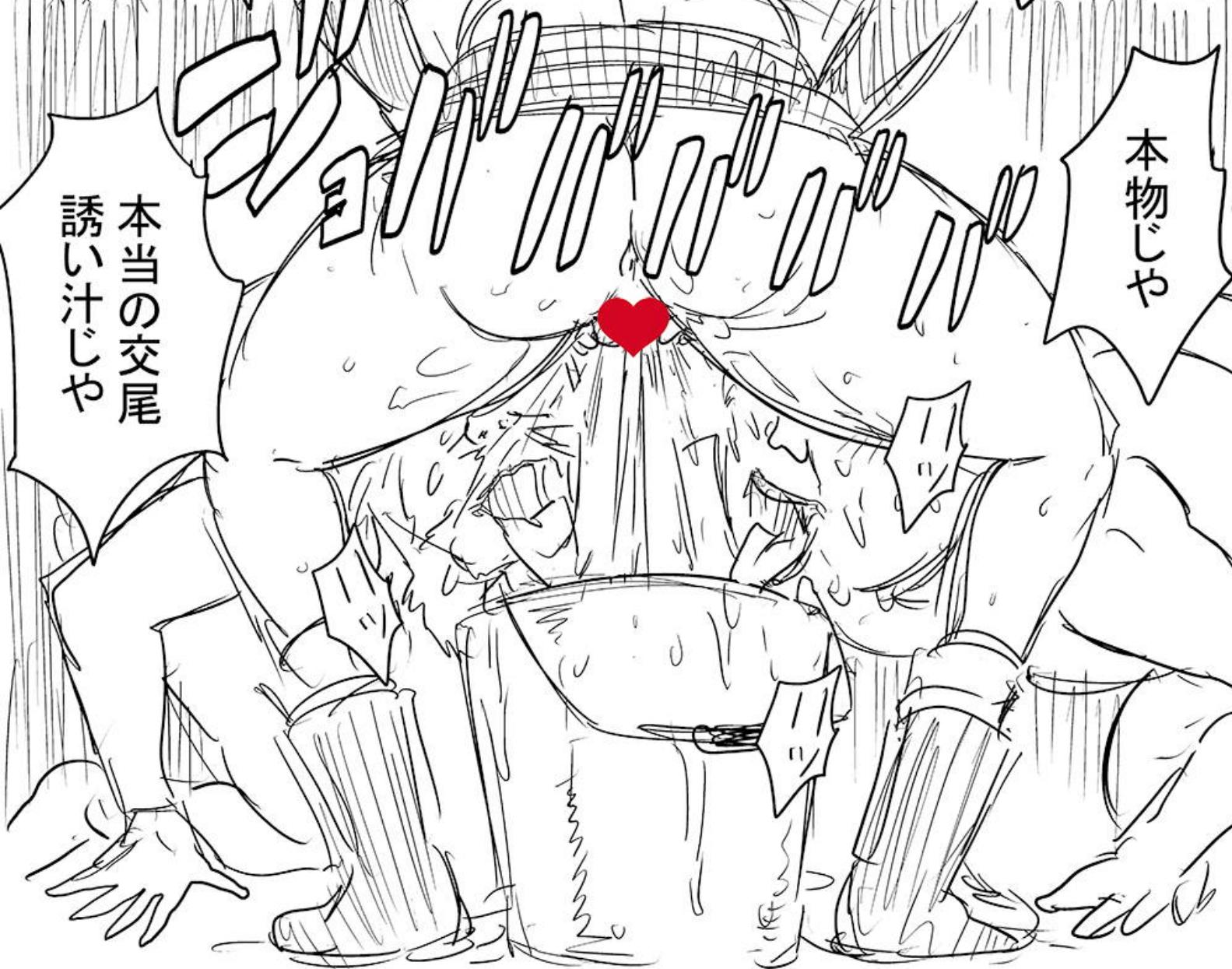
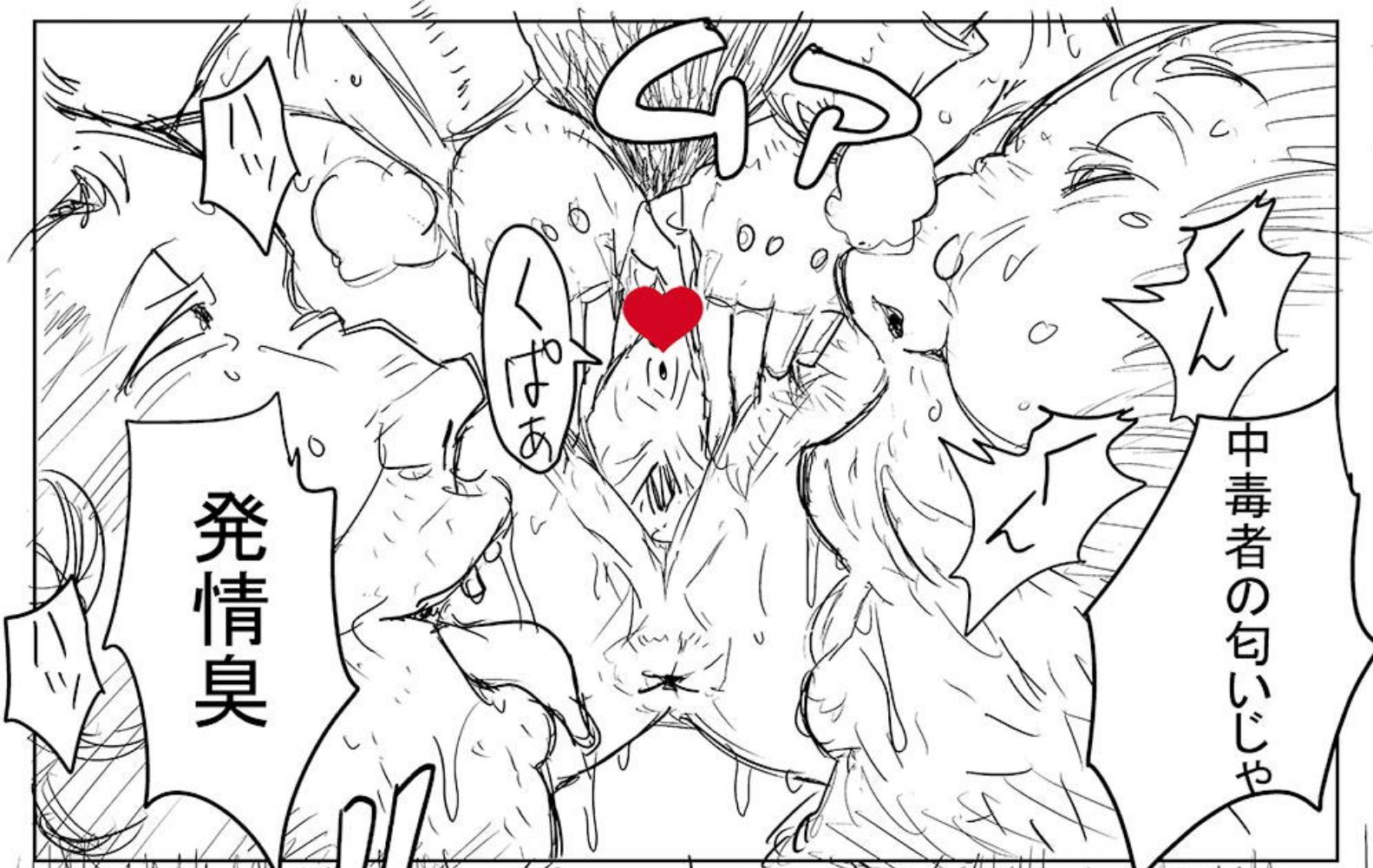


魔晄中毒者は
多くの者が社会不適合者となり
浮浪者となっていた。

私の体には
魔暎中毒者の
精液が必要でした。

わたしも
魔暎中毒者なの……

お互い
交尾相手が必要じゃ
ないのかしら?



神羅で拡張された私の体は
発情すると男達の好む匂いを
体液から分泌する。

おじさんたちの
都合のいい便所で
いいから！

私は発情すると
このフェロモンを利用して
魔晄中毒者を誘い
セックスを行います。

神羅の時みたいに
私の恥ずかしい姿を見せるから
私の中に射精してええ

精子が溜まつたら
私のおまんこ便器に
排泄して欲しいのお！

ワキくさ！

まさか
魔晄中毒者だつたとは
こうやっていつも
浮浪者とセックスしてるのか？

美女の
臭いしつこじや

彼氏じゃ、我慢できなくて
浮浪者相手に
行きずり種付けセックス
してますうううう

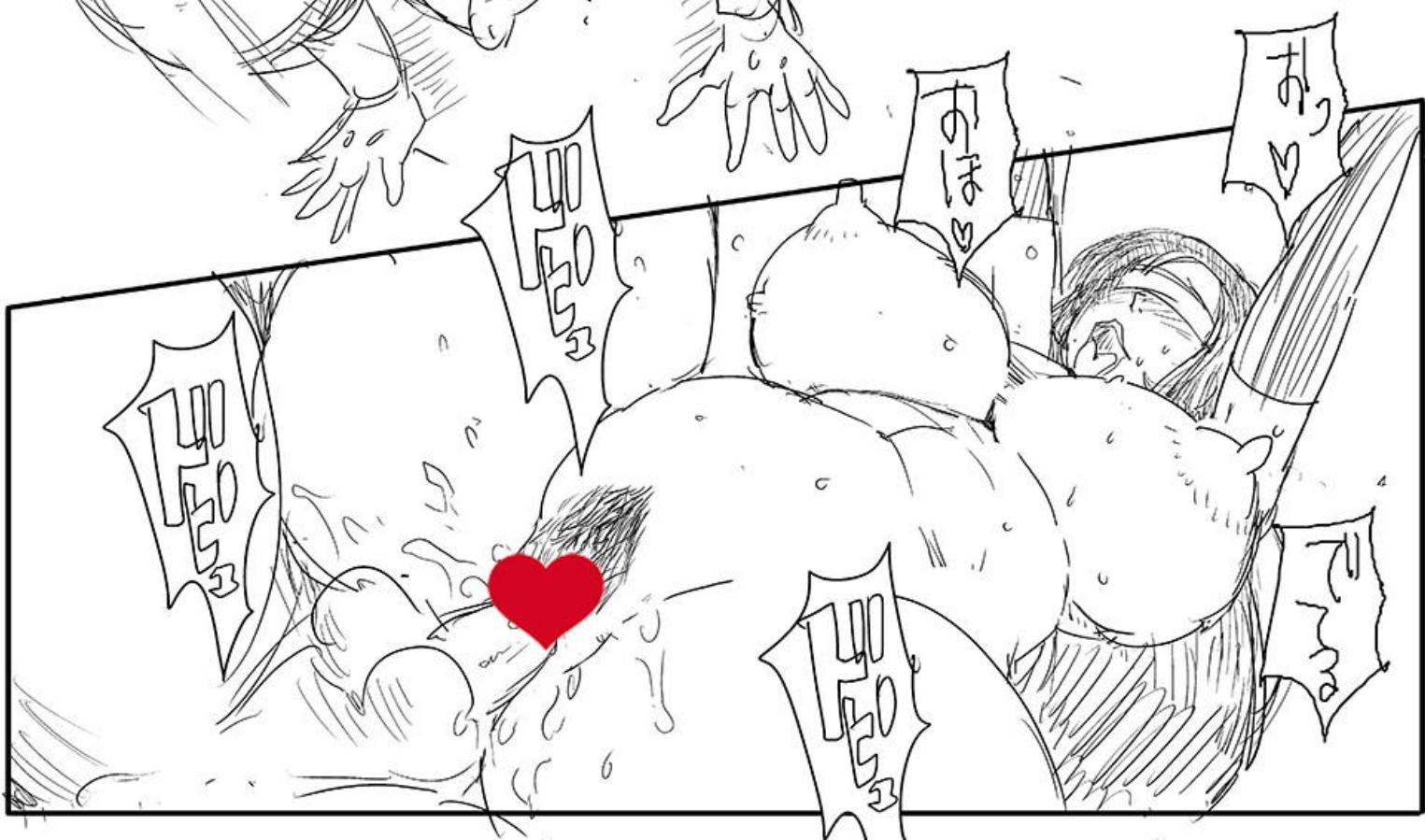
私は
彼らの精液便所に
なりました。



浮浪者種付け精子
受精します

俺たちの精子で
発情してるぜ

ああああああー！
便器にい
便器に射精してえ！



途中でおじさんの友達も
参加してきたので
たつぱり受精しました。

これから
おじさんの家で
朝までセックス
します。

おまんこ大好き
お山で受精

生SEX
100%

正直